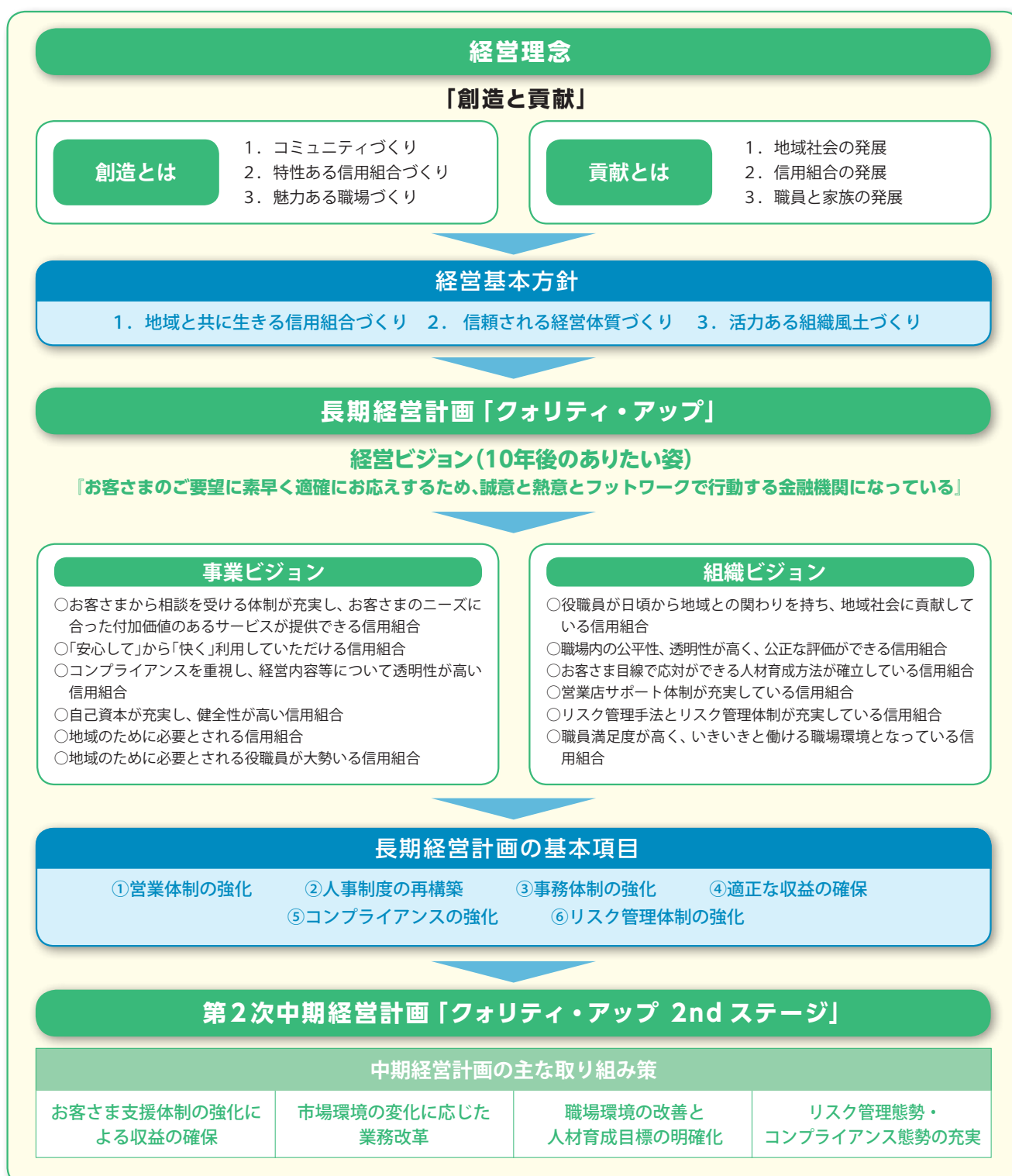


経営理念・長期経営計画・中期経営計画

当組合は、「創造と貢献」を経営理念に掲げ、地域のお客さまとのふれあいを大切に、地域社会の活性化に貢献する信用組合として、地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献することが使命と考えております。

この経営理念に基づいた取り組みをさらに向上させていくため、平成26年度に10年後を見据えた「長期経営計画『クオリティ・アップ』」を策定し、「お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とネットワークで行動する金融機関になっている」を経営ビジョンに掲げました。

今年度は、「第2次中期経営計画『クオリティ・アップ 2ndステージ』」のスタート年度となります。利鞘の縮小など厳しい経営環境下にあります。長期経営計画で掲げた経営ビジョンにいち早く到達できるよう、努力してまいります。



組合誕生30周年を迎えて

おかげさまで当組合は平成30年4月1日をもちまして、誕生30周年を迎えました。

昭和63年4月1日に西群馬信用組合と碓氷信用組合が合併して当組合が誕生してから30年の長き歳月が流れましたが、この間におきましては、バブル経済の崩壊やリーマン・ショックの影響などがもたらした国内景気の長期低迷、ゼロ金利政策やマイナス金利政策の導入など、金融機関の経営には誠に厳しい経済環境が続いてまいりました。

そうした環境下におきましても、預金残高は堅調に増加を続けており、貸出金残高は平成不況の影響で発生した不良債権の償却を積極的に進めたことにより大きく減少した時期もありましたが、近年では再び増加基調へと転じております。

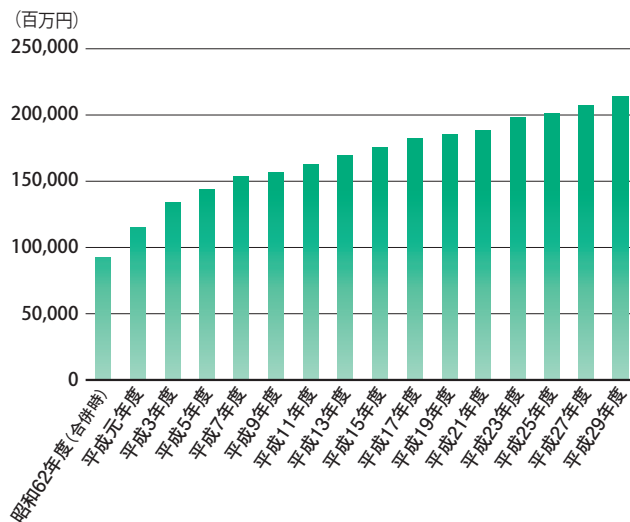
そして、平成30年3月末には預金残高2,147億円(誕生時の約2.3倍)、貸出金残高は814億円(同、約1.6倍)となりました。

ここまで当組合が大きく成長してこられましたのも、ひとえに地域の皆さまからの絶大なるご支援、ご愛顧の賜物であると考えております。

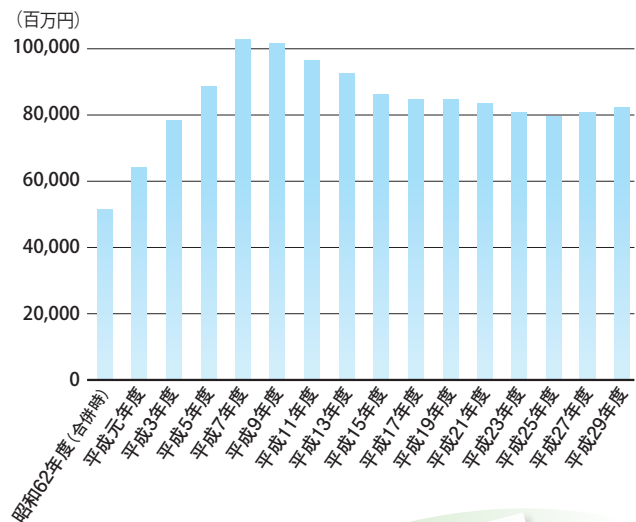
これからも当組合は地元の皆さまに必要とされる信用組合をめざして、歩み続けてまいります。

【30年間にける預金残高および貸出金残高の推移】

預金残高の推移



貸出金残高の推移



はじめに

地域を応援する取り組み

取り組み

コンプライアンス等への

各種サービスのご案内

ガバナンスの充実状況

資料編